

9/9 (月) 念願の初優勝！

プロボウラーでやいた応援大使の渡辺あきさんが、7月に行われた大会での公式戦初優勝を報告に市長を表敬訪問しました。市長からは「大使の渡辺さんが、プロボウラーや声優として活躍されることで、矢板の知名度が上がればうれしい」と期待する言葉が贈られました。渡辺さんは、「優勝時の写真をプリントしたラベルを張り付けたやいたブランドのりんごジュースをお世話になった方たちに贈った。大使として、矢板の魅力発信にも貢献できれば」と話されました。



◀7月18日(木)～7月21日(日)に行われた、「中日杯2019 東海オープンボウリングトーナメント」で念願の初優勝・初タイトルを獲得。矢板市出身のプロボウラーとして、多くの関連雑誌に特集されました。

9/14 (土) 被災の心を癒す

台風15号で甚大な被害を受けた千葉県鋸南町の空手道「勝山会」の子どもたちが、市内で合宿を行いました。今回の合宿は、スポーツコミッション事務局であり地域おこし協力隊の神崎さんにより誘致していましたが、台風の被災もあり中止を検討していたところ、道場から避難も兼ね合宿を行いたいとの話を聞き、神崎さんが鋸南町へ子どもたちを迎えに行くことで実現しました。市長は「矢板の美味しいものをたくさん食べ、疲れを癒し、元気になって鋸南町に戻ってほしい」と笑顔で迎えました。



▲市から鋸南町へ備蓄用水480本、アルファ化米500食、矢板スポーツコミッションから合宿に参加した子どもたちに矢板のりんごジュース、BBQのお肉が送られました。

9/20 (金) 防災・減災のために

市役所で、損害保険ジャパン日本興亜株式会社(SOMPO ジャパン)との包括連携協定の調印式が行われました。この協定は、地域防災力の向上、健康・スポーツの振興を図る目的で結ばれたものです。災害時にはドローンを使った被災状況の把握が可能になるほか、平時では防災セミナーや健康・スポーツイベントなどの開催協力をいただきます。市長は「県内市町初となる、『防災・健康・スポーツ』を包括した先駆的な協定を基に、市民生活の安心・安全と健康の向上により一層取り組みたい」と話されました。



▲(右から)・SOMPO ジャパン 栃木支店長 大磯氏・齋藤市長

9/21 (土) 安心して住める街に

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するため、RUN 伴栃木 2019 が開催されました。この日行われた矢板エリアでは、認知症の方だけでなく、そのご家族や事業所の方など、合わせて67人が市役所を発着点として長峰公園や道の駅やいたなどを7区間に分けて周回しました。参加者とともにひと区間を走った市長は、「この取り組みをきっかけに多くの方に認知症に対する正しい理解が広まることを期待したい。市も地域包括ケアシステムのさらなる充実に努めていきたい」と話しました。



9/22 (日) 埋め尽くす人の波

国道461号の本通りで、「やいた軽トラ市」が開かれ、軽トラなどを店舗に見立てた76のブースが約18,000人の来場者を出迎えました。会場内では、歌手による路上ライブのほか、ソーラーカーで距離を競う「2019 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」での優勝を記念して、矢板高校機械技術研究部がソーラーカー2台を先頭に凱旋パレードを行い会場を盛り上げました。県南から訪れた親子連れの方は「会場の盛り上がりがすごい。せっかくなので矢板の美味しいものを味わって帰りたい」と並ぶ軽トラと人の波を見ながら話してくれました。



◀県・市緑化推進委員会(公社)とちぎ環境みどり推進機構の共催で行われた苗木配布には、ミスアースジャパン栃木代表の中村友理子さんも駆け付け会場に華を添えました。

9/23 (祝・月) 雰囲気味わって…

矢板武記念館で、秋のイベントが行われました。日中は、江戸時代に建てられた母屋がお化け屋敷に様変わりし、入館を待つ子どもたちの長い列ができました。夕方には記念館内の西蔵にあかりが灯り、地域活動団体「まちのあかり」による朗読会「仲秋のあかり」が開かれ、「ためぎの糸車」など4作品が披露されました。白壁に映された趣ある挿絵と朗読者に当てられたあかりの下、朗読者の声が室内に響くと、来場者は作品の世界観に引き込まれるように聞き入っていました。



▲お化け屋敷は、手作りながら照明やさまざまな仕掛けが施され、恐怖のあまり引き返してくる子どももいるほどのクオリティに。館内では、子どもたちの悲鳴が終始響き渡りました。

10/1 (火) 大歓声でお出迎え

矢板小学校で、ハンガリーのマウンテンバイク選手バーバラ・ベンケーさんを迎え交流会が行われました。この会は、バーバラ選手が東京五輪の事前トレーニングキャンプの視察を兼ねた合宿で矢板を訪れたことから実現されたもので、児童たちは、バーバラ選手にマウンテンバイクに出会ったきっかけやハンガリーのことについて質問するなど交流を図りました。児童たちは「五輪に出るような海外選手と交流できて感動した。バーバラ選手が東京五輪に出場したら絶対に応援したい」と目を輝かせながら話してくれました。



▲両国の国旗の手旗を振り、矢板小5年生の児童56人がバーバラ選手を出迎えました。◀近隣のオフロードパークでトレーニングを行うバーバラ選手

10/5 (土) 実りの秋 収穫楽しむ

第二農場兵庫畑で、23組の棚田オーナーと地元有志の「兵庫畑棚田を守る会」の皆さん約100人が参加し、秋晴れのもと棚田に実った稲の収穫を楽しみました。刈り取った稲は昔ながらの方法で天日干しにされ、後日脱穀した米がオーナーの手元に届けられることになっています。親子連れで参加した方は、懸命に稲刈りをする子どもたちの姿をみて「子どもたちと一緒に苗を植え、大きく成長した稲を子どもたちと一緒に刈り取る。都会では味わうことのできない貴重な体験をさせてもらっている」と話してくれました。

